

令和8年度 第1回
橘町水害対策委員会
(令和8年10月8日)

今年度の事業内容について

武雄河川事務所、佐賀県、武雄市
令和8年10月8日

目次

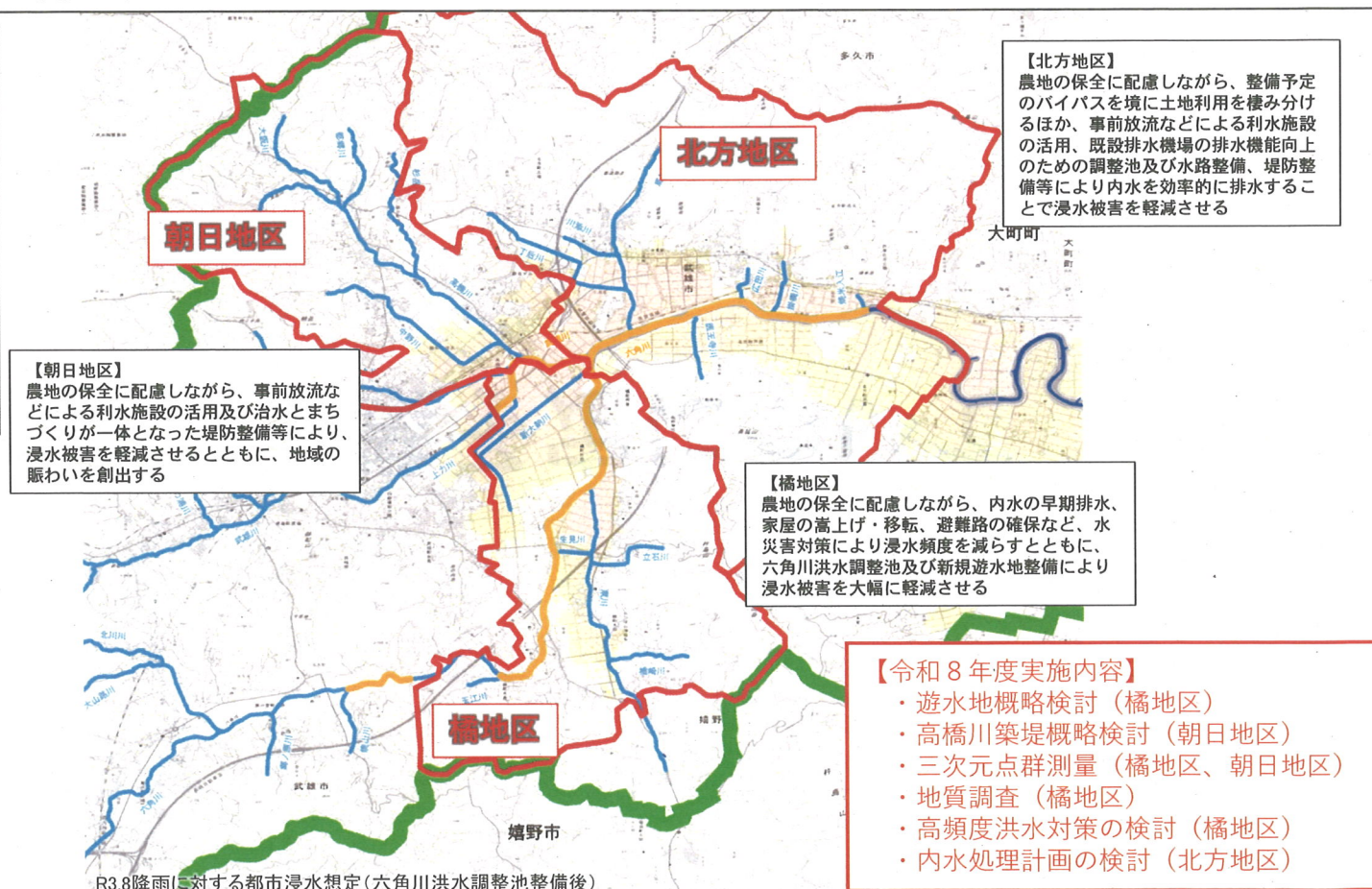
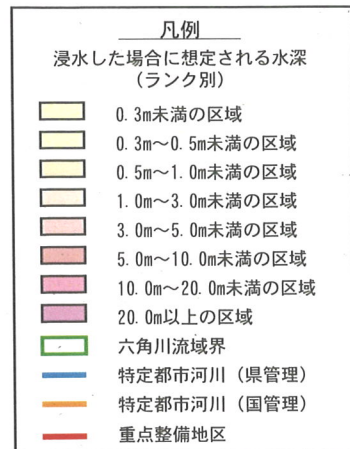
- ・ 今年度の事業予定・・・・・・・・・・P 3～
- ・ 高頻度洪水対策について・・・・・・・・P 9～

今年度の事業予定について

六角川流域水害対策計画について

武雄河川事務所

- 本計画は、床上浸水リスクが特に高い武雄市の橘地区・朝日地区・北方地区を重点整備地区とし、生業とコミュニティの維持に配慮しながら、まちづくりと一体となった河川整備、流域対策を記した計画をR7.3.28に策定した。
- 今年度も、引き続き、遊水地・築堤等の概略検討を行うとともに、設計に資する基礎調査（測量、地質調査）を新たに予定している。また、高頻度洪水対策の検討、内水処理計画の検討なども推進する。



重点整備地区の設定と各地区の対策方針

測量調査についてのお知らせ

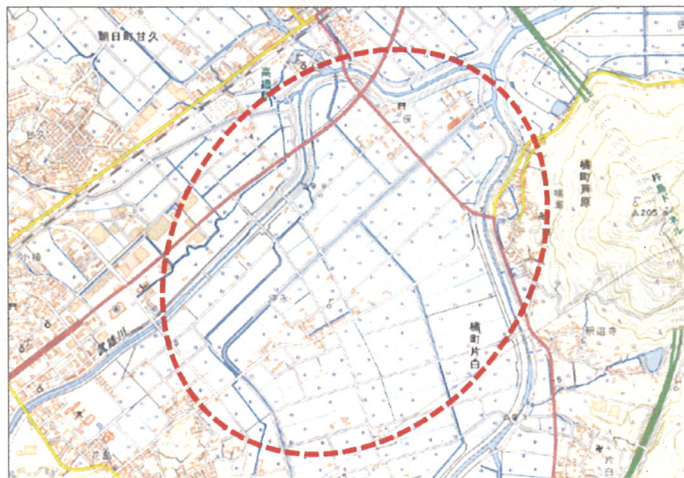
暑さ厳しい折、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

このたび、下記のとおり現地調査を実施いたします。
調査に当たっては、安全に十分配慮するとともに、住民の皆様へのご迷惑をできる限り少なくするよう努めてまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1. 調査項目：UAVレーザ等による測量調査

2. 調査内容：詳細な三次元地形データを作成するため、UAVレーザ測量を行います。UAVは、地上から約70mの高さを飛行します。
また、標識の設置などの地上での測量作業も行います。

3. 調査箇所：下図参照



調査予定箇所

4. 調査期間：下記の期間で調査を行います。

※天候等により、調査時期が前後する場合があります。

UAVレーザ測量：令和8年9月上旬～9月下旬のうち5日間程度

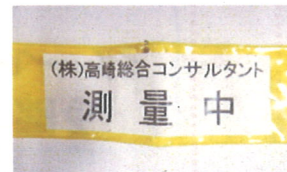
地上測量：令和8年9月上旬～11月下旬のうち10日間程度

調査時間帯：8時30分～17時00分頃を予定

5. 調査実施における基本事項：

現地に入る場合は、以下の対応を行います。

- 作業員は、「腕章」を着用し、「身分証明書」を携帯します。
- 作業車は、ダッシュボード等に業務名・連絡先を記載した「車両プレート」を掲示します。



腕章（例）



車両プレート（例）

6. 調査会社

令和8年度六角川上流域測量業務
株式会社高崎総合コンサルタント
担当者：近藤、川野
TEL:0942-44-8333(代表)



UAVレーザ測量のイメージ

お問い合わせ先：
(発注者)

国土交通省 九州地方整備局
武雄河川事務所 流域治水課
0954-23-7933(代表)

UAVレーザ測量とは

国土交通省
武雄河川事務所

UAV(ドローン)を使って地形を測り、**施設計画**に役立てます。



今年度実施

1



測量計画を立てる

現地状況を踏まえて、飛行ルートや安全対策を決めます。

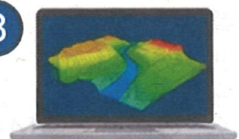
2



ドローンにより地形を測る

測量用のドローンに搭載したレーザを使って、地形を測ります。

3



地形の3Dデータを作る

計測したデータをつなぎ合わせて、3次元の地形データを作成します。



必要に応じて追加測量

必要に応じて、地上の測量を追加で行っていきます。



一言でいうと...

UAV(ドローン)という「空飛ぶ測量機器」を使って、上空から地形を測り、安全かつ効率的に、正確なデータを取得する測量方法です。

地質調査についてのお知らせ

暑さ厳しい折、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

このたび、下記のとおり現地調査を実施いたします。
調査に当たっては、安全に十分配慮するとともに、住民の皆様へのご迷惑をできる限り少なくするよう努めてまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1. 調査項目：ボーリングによる地質調査（6箇所）

2. 調査内容：地盤の状態や硬さなどを確認するため、地質調査を行います。

※調査の実施に当たり、土地への立入りや作業場所の使用等が必要となる地権者の方には、個別にご相談させていただきます。

3. 調査箇所：下図参照

※資機材の積み下ろし時には交通規制を実施します。
実施に当たっては、事前に看板等でお知らせします。



※調整状況によってはボーリング調査予定地点に変更が生じる場合があります。

調査予定地点

4. 調査期間：令和8年9月上旬～令和8年11月下旬

※必要に応じて、工期が前後する場合がございます

1地点当たりの調査期間は、1～2週間程度を予定しております。

調査時間帯：8時30分～17時00分頃を予定

5. 調査実施における基本事項：

現地に入る場合は、以下の対応を行います。

- 作業員は、「腕章」を着用し、「身分証明書」を携帯します。
- 作業車は、ダッシュボード等に業務名・連絡先を記載した「車両プレート」を掲示します。



腕章（例）



車両プレート（例）

作業中はマシンのエンジン音や金属の打撃音（カンカン）が発生しますが、防音シートを設置し、騒音の低減に努めます。



ボーリング調査のイメージ

6. 調査会社

令和8年度 六角川水系地質調査業務

日本地研株式会社

担当者：田中、山下

TEL:092-571-2764(代表)

お問い合わせ先：
(発注者)

国土交通省 九州地方整備局
武雄河川事務所 流域治水課
0954-23-7933(代表)

地質調査とは

国土交通省
武雄河川事務所

調査箇所の土の性質等を調べ、**施設計画**に役立てます。

今年度実施

1



調査計画を立てる

現地状況を踏まえ、詳細な調査場所や
機材の搬入ルート等を決めます。

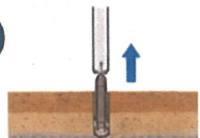
2



機械を設置し穴を掘る

調査箇所にボーリングマシンという
機械を設置し、地面に穴を掘ります。

3



土を採取する

掘った穴から土を採取して、地層や
地下水の位置等を確認します。

4



地盤の性質を調べる

採取した土を室内で詳しく調べて、
土の性質を確認していきます。



地質調査のイメージ



必要に応じて 追加調査

必要に応じて、地質調査を
追加で行っていきます。

来年度以降



一言でいうと…

目に見えない地面の中の土の性質を機械で掘って調べる調査です。

高頻度洪水対策について

【国、佐賀県、武雄市】

これまでの主な経緯

～令和6年度まで

- 橘町を含む六角川上流域では、立て続けに発生した令和元年8月・令和3年8月の豪雨災害を契機に、特定都市河川の指定（R5.3指定）、流域水害対策計画の策定（R7.3策定）。
- 流域の中でも、東川流域は、毎年のように発生する小規模の雨（高頻度で発生する雨）で、浸水被害が繰り返し発生。

令和7年6月18日～

- 令和7年6月10日に発生した浸水被害を受けて、東川流域における「高頻度で発生する洪水の対策」（以下「高頻度洪水対策」という。）の議論が本格化。

令和8年3月16日

- 地域住民、国、県、市が議論し合い、令和8年3月16日に「高頻度洪水対策の骨子」を提示。

令和8年度～

- ◎現在、高頻度洪水対策をより具体的に進めるため、国・県・市役割分担のもと、令和8年度から着手。（今回『対策メニュー【案】』を図で説明）

東川流域 高頻度洪水対策(案)

対策メニュー (案)



橘町東川流域高頻度洪水対策の取組(R8:新規)

佐賀県

撮影写真①(国より提供)



撮影写真②(国より提供)



撮影写真③(国より提供)



県道武雄白石線

R7.6.10出水
(国職員の目視確認による
浸水範囲)

東川

六角川

鐘撞川
排水樋管

釈迦寺
排水樋管

階段の設置
(東川右岸)

国道498号

橘小学校

←写真①

←写真②

写真③→

道路部分嵩上げの検討のための現地測量を実施
(道路の高さや沿線の家屋入口の高さの確認など)

橘町東川流域高頻度洪水対策の取り組み(R8:新規)

武雄市

※ 高頻度洪水とは 数年に一度発生し、小さな災害を引き起こす、小規模な洪水

➤ 六角川右岸の東川流域（県河川）は毎年冠水

＜R7.6.10出水＞

3時間雨量：78ミリ

国道498号（通行止）

県道武雄白石線（通行止）

橘小学校前
国道498号



◆ 測量調査設計業務

- ・ 排水施設整備（小規模）
- ・ 排水路改修
- ・ 農地活用の検討



